

【別紙-2】小・中・高校生を対象とした主権者教育の取組状況

※記載内容は自由記述回答（任意）の通り
（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
北海道	札幌市	H	<p>令和5年度札幌市子ども議会</p> <p>1 事業目的 未来を担う子どもたちが、市政への参加体験を通して、札幌のまちづくりについて考えることで、市政に対する子どもたちの理解や関心を促進する機会とする。また、子どもたちが、自分の関係する事柄について、主体となって考え、意見を表明し、新しいことへチャレンジする機会とし、札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例に定める「自分らしく生きる権利（条例第9条）」、「豊かに育つ権利（条例第10条）」及び「参加する権利（条例第11条）」を体现する場とする。</p> <p>2 参加者（1）子ども議員 市内の小学4年生から中学校3年生 25名（公募）（2）ユースファシリテーター 市内又は札幌市近郊の高校・大学に通学する学生 10名（公募）</p> <p>3 事業内容 子ども議員がファシリテーションの研修を受けたユースファシリテーターの支えのもと、3か月にわたる計6日の日程で、自ら設定した市政に関するテーマを話し合い、それによってまとめた意見を市長に報告した。子どもたちの意見全文や市長との質疑応答等を動画にまとめたものを、市公式Youtubeで公開する予定。本事業では、限られた時間の中で子どもたちに多くの議論を促し、学んだ知識と他の子どもの考え方や価値観を元に自分の意見を形成、表明する過程をサポートする必要があることから、令和4年度からファシリテーターの業務を委託し、活動全体が効果的に展開されるよう、専門的知識やノウハウを活用して進行役を務めてもらっている。</p>
北海道	千歳市	B	<p>毎年、中学校との交流学习会を実施しており、今回の学校訪問では、生徒が市の課題と解決策を考え、プレゼンを行い、議員がそれに対して意見を述べた。また、模擬議会を行い、中学生が議会の仕組みや議員の仕事内容を知ることによって、議会や議員を身近に感じていただき、将来の社会参加への意識高揚を図っている。</p>
北海道	登別市	A	<p>希望する市民に対し議場見学の受入れを随時行っており、10月に、議会活動に興味をもつ市内の中学生5名及び教員1名が議場見学を行った。議長及び広聴・公開委員会委員長から議場や議会の説明を行い、生徒からの質疑に対応した。</p>
北海道	北斗市	A	<p>小学校5、6年生、中学生、高校生を対象にした子ども議員が一般質問方式により意見発表をし、市長又は教育長が答弁する子ども議会を行った。</p>
青森県	弘前市	C	<p>12月26日、教育委員会主催により、市内小中学校の児童生徒を対象とした第10回弘前子ども議会が議場で実施された。この取組は、児童生徒がより良い学校や地域、まちづくりについて、議会形式で意見を出し合う活動を通して、市政や議会が市民生活と直結していることを理解するとともに、未来の望ましい有権者となるべく意識を高めることがねらいとされている。</p>
青森県	十和田市	B	<p>小中学生が市政に対する一般質問を行った。</p>
岩手県	宮古市	A	<p>一般社団法人陸中宮古青年会議所が主催で、市と市議会が共催して実施。市内の高校生が議員となり、市議会議場にて市の執行部に対して一般質問を行う。事前のオリエンテーションで市長や議員から講話を受け、グループごとに質問内容を検討。未来議会の本会議当日には市長をはじめ市の部課長らが出席し、質問に対して答弁する。</p>

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
岩手県	花巻市	B	①模擬授業に参加・市内の高校1校から議員に対し、花巻市の現状と課題について講義の依頼があったことから実施したもの。・当該校では、講義を通して視野を広げ、高校生が研究テーマを設定して卒業研究に取り組むことを目的としている。・対象は2年生、3年生。・総務常任委員会委員長、文教福祉常任委員会委員長、産業建設常任委員会委員長が出席。 ②高校生議会の開催・市内の高校を対象に市議会議場で開催（市内7校、19名参加）。・各高校から1項目ずつ市政に対する質問が提出され、各高校代表の生徒が登壇質問を実施。・議事の進行は、正副議長役として生徒が務めた。
岩手県	一関市	C	高校生と市議会議員による懇談会を開催。
岩手県	二戸市	A	管内高校生との意見交換会を実施。
岩手県	奥州市	C	市議会だより配架のために議員が高校訪問を行うことで教材に市議会だよりを使っていたり、議会傍聴につなげている。議会を身近に感じていただくためパンフレット（一般用、児童用）を作成し、傍聴、見学時に配布している。議会傍聴規則を一部改正し、児童、幼児等すべての方の傍聴を可能とした。ワールドカフェ形式によるワークショップを実施。高校生による探究活動の一環として議場見学や高校訪問を実施。
宮城県	仙台市	H	問の期間中に実施はないが、子ども議会を実施している。
宮城県	登米市	B	子ども議会を実施。
秋田県	横手市	B	・横手市内の中学校生徒会代表が、中学生が考える横手市の現状や課題の解決を図り、さらに住みやすい横手市にするため、市議会議員との勉強会を経て、市執行部に対し政策提案を行った。 ・若い世代にも関心を持ってもらえる議会だよりとするために、地元高校生にモニターとなってもらっており、また、高校へ出向き議会だよりモニター会議を行っている。
秋田県	由利本荘市	B	市内高校生と議員が5～6名のグループをつくり、ワークショップ形式で「まちづくり」をテーマに話し合い、発表、意見交換を行う取組を行った。
秋田県	湯沢市	A	ゆざわ市民一日議会の開催にあたり、市内の小・中・高校に参加者の募集についてご協力いただき、小学生1名、中学生1名、高校生2名に参加いただいた。
秋田県	大仙市	B	平成26年、平成29年、令和2年に続く第4回目の開催となる「大仙市中学生議会」を令和5年1月11日に開催。中学生議会は、大仙市の未来を担う中学生が議会の仕組みや大仙市議会の活動への理解を深めるとともに、市政に対する関心を高め、ふるさを見つめ直すことにより、学校や地域での実生活に役立てることを目的に大仙市中学生サミットの一環として実施。中学生20人が“議長や議員”となり、まちづくりや教育行政などの身近なテーマについて一般質問形式で質問や提案をする本会議を行うもの。第1回中学生議会での提案で大仙市のマスコットキャラクター「まるびちゃん」が誕生。
山形県	米沢市	B	中学生に対する主権者教育の取組として中学校出前市議会を行っている。市内中学校全校を議員が訪問（希望によりオンライン開催）し、議会の仕組みについての説明と放送劇を行った後に、生徒との質疑応答を行っている。終了後にインターネットで模擬投票を行い、感想等を入力してもらう。平成27年度から始めた取組である。
山形県	長井市	A	市内中学校2校、高校2校において市長講話を実施している。
山形県	南陽市	A	南陽みらい議会未来を担う中高生が議員となり、討議や政策立案、合意形成を通し、実際に政策実現を目指すことで主権者教育の充実を図る。市内の中高生14人で構成され中高生全員を対象とした投票で選ばれた南陽みらい市長のもと、約半年にわたって活動する。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
福島県	会津若松市	C	(スクール議会) 中学生が議員役を務め、市のまちづくりについて市長などに質問や提言をするもので、本市の中学生が市政について学習し、地域について自らが考える機会にするとともに、本市のまちづくりについて様々な意見を提言し、市政への参加を進めることを目的として実施している。
福島県	郡山市	E	小中学生の議場見学に際し、議員自ら市議会の仕組み等について説明し模擬議会も実施している。
福島県	喜多方市	A	・子ども議会 市内中学校三年生の生徒が、社会科学習の一環として市政一般に対する質問。 ・答弁を通して議会や政治の仕組みについて体験的に学習する。また、本市の施策やまちづくりに関心を深めてもらうとともに、生徒の意見や提言を今後の市政運営の参考とする。
福島県	二本松市	B	市内の高校より主権者教育についての講師依頼が議長あてにあり実施した。
新潟県	新潟市	H	主に中高生を対象に、学校からの依頼に基づき、政治や選挙への関心を高める「新潟市主権者教育推進プログラム」を実施。令和5年中は、中学3年生200人の参加・参観による模擬市議会等(1月13日)、高校1・2年生111人の参加による意見交換等(2月10日)を実施した。
新潟県	上越市	C	小中学生の政治や議会に対する関心を高めるため、議会傍聴体験や議員が学校に訪問する出前講座など議会学習の取組を行っており、より多くの学校から利用してもらえるよう多様な議会学習のメニューを設定し、主権者教育を進めている。
新潟県	村上市	B	市民との情報共有と積極的な情報公開を進め、より開かれた議会を目指すため、これからの当市を担う若い世代である高校生を対象とした「高校生と議会の懇談会」を実施した。村上高等学校(1年生)では、総合的な探究の取組(村高イヨボヤプラン)として、SDGsの理念の下、まち歩きや出前講座など「地域を知る・社会を知る」活動を通じて探究活動を実施している。その活動の発表の場であるポスターセッション発表会に向けた各班の課題整理等に当たり、生徒の意見、疑問等に対して村上市議会議員が助言等を行った。荒川高等学校(3、4年生)では、「市議会の役割と仕組みを学び、村上市の将来を語ろう」をテーマに、村上市議会の役割としくみについて、議会からの講話により理解を深め、その後、生徒からの質問・意見を基に意見交換を行った。
新潟県	佐渡市	A	佐渡市高校生議会は、SDGsの理解と市の施策との関連性について学びを深めるとともに、実際に身近な社会である市の諸課題の解決に向けた政策提案を行う活動により、佐渡の未来について考えることを目的に実施した。
新潟県	魚沼市	A	魚沼市中学生議会を令和5年11月17日に実施。市政や市議会をより身近に感じてもらい、政治への関心を高めるため、模擬議会として開催。また、将来の魚沼市を担う中学生が、どんな魚沼市であってほしいか、地域にどんな課題があるのか、市長に直接提言、質問をすることで生徒の思いを市政に反映させるよう努める機会とし、この体験が郷土愛の醸成につながることを期待するもの。
富山県	射水市	B	議会報告会の一環として、市内の高校において、高校生を対象とした意見交換を行った。
富山県	氷見市	A	模擬議会に開催にあたり、高校生を含み議員に選出している。
富山県	砺波市	A	高校生による議会傍聴及び意見交換会を実施。
富山県	南砺市	A	小学生議場見学高校生との意見交換会を実施。
石川県	七尾市	A	市内小学6年生を対象とした「市議会見学会」を学校単位で開催した。議場で、実際の口述書をもとに、市長・執行部役、議長役、議員役を小学生が体験した。議員は、見学会の司会進行・説明役・案内役を役割分担し、受け入れを行った。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
石川県	輪島市	A	市内中学生を対象に中学生議会を開催した。
石川県	珠洲市	A	市内の小中学生が身近な地域の問題や、将来のまちづくり、教育など、市政に関するテーマについて、自由な発想による意見、提言を发表或し、質問したりすることを通して、親子で珠洲市の将来について考え、絆を深めることと市政に対する理解と関心を育むことを目的に親子議会を開催。
石川県	加賀市	B	1. 市内高等学校と議員の意見交換会 毎年度、市内高等学校の授業の一環として、「加賀市民が幸せに生活するにはどうすればよいのか」という題目に対して、高校生と議員の意見交換会を実施している。いただいた意見を定例会及び委員会での質問等に反映している。 2. 令和5年度子ども議会 加賀市の未来を担う中学生に、議会や市政への理解と関心を高めてもらうとともに、市政に対する要望や質問を发表する機会を提供し、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目指すことを目的として実施した。当日は、12名の議員（うち議長1名）が市当局に対し1問ずつ質問を行った。
石川県	白山市	C	市内の高校（3校）で議会報告会を開催した。
福井県	小浜市	A	市民を対象に出前講座を受付しているほか、各学校の議場見学等の受入れを行っている。（R5年中に1件の小学校受入れを実施）
福井県	大野市	A	希望があれば議会のしくみ等の学習や議場等見学に対応しており、令和5年中は、市内中学校1校による授業の一貫としての議場見学実施を受け入れ。
福井県	坂井市	B	【県立高校にて】 ・生徒たちが地域の様々な問題について協働先を設定し、活性化対策を考察。 ・実行する中で、その内容について議員と共有するとともに、今後の活動について議員から助言を行った。 ・生徒たちがグループごとに取り組んだ地域の問題解決の提言発表を議員が聞き、提言に対するアドバイス等を行った。
長野県	長野市	E	市内小中高等学校等での学習や活動から、長野市に対する提案・質問等を話し合うことで、地方自治の実際について体験的に学ぶ機会とする。
長野県	松本市	D	高校生を対象とした交流事業の実施（学校訪問してのグループディスカッション及び後日開催のオンラインによる振り返り会）。小学校高学年及び中学生を対象とした議会こどもだよりの発行。
長野県	飯田市	B	2023年7月に市内高校生（25人）とタウンミーティングを開催。市の魅力や課題を議論し主権者教育につなげる。2023年8月に飯田市立山本小学校6年生を対象に出前講座を実施。地方議会の仕組みについて講義するとともに、主権者教育を意識して、市や地域に関する児童からの質問に対応。
長野県	諏訪市	A	小学生に対し、議場見学及び議長から議会の説明を行った。
長野県	伊那市	B	・高校生の傍聴後、意見交換会。 ・高校生の傍聴後、高校へ出向き意見交換会。 ・小学生議場見学。 ・中学生職場体験学習受入れ。
長野県	駒ヶ根市	A	希望に応じて出前講座や議場見学受け入れなどを実施している。令和5年度からは議員有志による「ワクワク未来部会」を設置し、主権者教育の推進に取り組んでいる。
長野県	塩尻市	B	高校生の声をとりまとめ、要望書として市長に提出。
東京都	立川市	C	小学校の市役所見学の際に議会エリアについては、議員自ら説明している。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
東京都	町田市	F	市内在住・在学の高校生を対象とし、市議会議員との意見交換会を行った。市立小学校3年生による社会科見学を受け入れ、議会の役割や議場設備に関する説明を行った。市内在住・在学の小学生を対象とし、夏休み期間中に質疑や表決体験ができるフェアを行った。市内の都立高校に訪問し、市議会議員との交流授業（パネルディスカッション）を行った。
東京都	小金井市	C	令和5年2月13日（月）に中央大学附属高等学校3年生の特別授業の一環として「議員と話してみよう」小金井市議会による主権者教育を実施した。当日参加者は36人。内容としては、市議会の概要等の紹介をし、テーブルトークで高校生と議員が意見交換を実施した。
東京都	日野市	C	市内小学校（中学年）による議場見学を実施。
東京都	国立市	B	小学生を対象とした議員体験をくにたち活性化協議会主催の「くにジョブ」の企画の一つとして実施。架空議案「国立市立小学校に週休3日制を導入する条例案」について、参加してくれた子どもたちに審議してもらい、投票による可否までの体験をしてもらった。
東京都	狛江市	B	市内小学校のまち探検にて、議場の見学と説明。
東京都	東久留米市	C	東京都立東久留米総合高等学校に当市議会議員が出向き、市役所と市議会の関わり等に関する講演を行うとともに、質疑応答などを行った。
東京都	港区	D	「区役所たんけん隊」区立小学校に通う児童が、区役所内をウォークラリー形式で体験学習する「マイスクールPRコンペティション」区立小・中学校の児童・生徒が在籍校や学校周辺の地域の魅力づくりに向けた取組を発表する。
東京都	荒川区	D	荒川区子どもの権利条例の制定・施行に伴い、区内の子どもに条例の周知・啓発を図るとともに、子どもからの意見を区が聴く機会を設けることにより、今後区の施策に子どもの意見を反映させ、子どもの権利を保障し子どもが安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、区立中学校より子ども議員を募り、子ども議会を開催した。
東京都	板橋区	G	区議会のしくみや役割などを掲載した小冊子「わたしたちの区議会」を作成している。2023年に内容を刷新し、小学生にも理解しやすい表現や内容に変更するとともに、二次元コードを活用し、小中学生の一人一台パソコンから区議会ホームページへ簡単にアクセスできるようにした。
東京都	練馬区	G	子ども議会：区内中学校及び国・都・市立中学校生徒を子ども議員とし、区政及び区議会制度、選挙制度、地域調査、政策提言等について学習会を4回開催。政策提言案を発表し子ども議員間で意見交換（意見交換会）を行ったのち、区に対して政策提言を行う（政策提言発表）。
東京都	足立区	G	開催日：11月26日（日曜日）会議名：「モギ区長選」テーマ：中高生の政治意識向上、政治家との交流会の提供を目的として、学生団体の企画・運営により実施された。対象者：中高生主権者：学生団体「15歳の提言」参加者：高校生・中学生34名その他：オブザーバーとして区議会議員8名参加。
東京都	葛飾区	F	子ども議会。次代を担う小中学生の議会制民主主義への理解と区政への関心を深めるとともに、小中学生から見た区に対する要望や意見等を聴取し、今後の区政運営の参考とするもの。夏休み子ども議場見学会。参加者に議場の見学を通して区議会を身近に感じてもらい、区議会への関心を高めるもの。
東京都	江戸川区	G	子ども議会：子ども議員（小学生）が区長へ質問を行い、区長及び執行部が回答する。江戸川区SDGs中学生議会：中学生議員が区長へSDGsに関する質問を行い、区長及び執行部が回答する。小学生向け議場見学：区内小学校を対象に議場見学会を企画した。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
神奈川県	横浜市	H	<p>横浜市委を身近に感じ、社会や政治に参画する力を育むこと（主権者教育）を目的に以下の取組みを行っている。</p> <p>1 本会議傍聴 (1) 実施時期 定例会の中で、一般質問や議案関連質疑等のある本会議の日 (2) 実施時間 1回あたり、90分 (3) 実施内容 傍聴のほか、学習動画視聴や議会についての説明、クイズ、質問タイム (4) 対象者 小中学校の児童・生徒（主に小学6年生） (5) 令和5年実績 3校、175人</p> <p>2 市会議事堂見学 (1) 実施時期 原則、市会閉会中に実施（目安時期）・1月・4月～5月上旬・6月下旬～7月・11月 (2) 実施時間 1回あたり、90分～120分 (3) 実施内容 学習動画視聴や議会についての説明、クイズ、本会議場での採決体験、議場見学、質問タイム等 (4) 対象者 小中学校の児童・生徒（主に小学6年生） (5) 令和5年実績 29校、2,702人</p> <p>3 子どもアドベンチャーカレッジへの参加 (1) 実施時期 令和5年8月16日、17日 (2) 実施時間 1回あたり、90分 (3) 実施内容 教育委員会主催の市内在住在学小学3～6年生を対象とした、「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供する事業にプログラム参加している。具体的な内容としては、学習動画視聴、本会議場での採決体験、議事堂内探検ツアー（クロスワードのキーワード探し）、記念撮影等を実施しています。(4) 対象者 小学3～6年生 (5) 令和5年実績 全4回・児童115名参加</p> <p>4 市立高校生による市会訪問 (1) 実施時期 令和5年12月25日 (2) 実施時間 120分 (3) 実施内容 政策の合意形成を体験するグループワーク、本会議場見学、採決体験、市会・議員についての説明、横浜市議員との意見交換等 (4) 対象者 横浜市立高校の生徒（主に1～2年生） (5) 令和5年実績 6校から22名参加</p> <p>5 市立高校が実施する教員養成講座への協力 (1) 実施時期 令和5年8月1日 (2) 実施時間 30分 (3) 実施内容 議会の仕組みについての説明、議事堂見学を実施している。(4) 対象者 教員養成講座受講の生徒（1年生） (5) 令和5年実績 教員養成講座受講生徒30名</p> <p>6 その他 議会学習動画をホームページ及びYouTubeにて公開している。2022年4月公開（全4本、令和6年2/14時点での累計再生回数6,900回以上）また、上記各取組の中で活用している。</p>
神奈川県	川崎市	H	<p>令和5年7月に小学4～6年生を対象とした「夏休みこども議場見学会」を開催した。また12月に高校生が当市の課題や身近な問題について考え、政治へ関心を持つきっかけを作る「高校生と川崎市議会議員の意見交換会」を開催した。</p>
神奈川県	相模原市	H	<p>公益社団法人相模原青年会議所が主催する事業「さがみはらジュニアハイスクール議会2023」に、市・市教委・市議会が協力した。事業は全3日（7月29日、8月1日、8月19日）で、応募した21名の市内中学生が議員となり、4つの委員会にわかれ、あらかじめ設定したテーマに沿って2日間にわたり議論が行われた。そして、3日目に議場において、本番さながらの厳粛な雰囲気のもとで「本会議」が開催され、市長を含む執行部への質疑や提言が行われた。</p>
神奈川県	小田原市	C	<p>市内の小中学生を対象とした議場見学会を議会報告会の一つの形として開催し、議会についての説明のほか、選挙管理委員会を招き選挙について説明を行った。</p>

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
神奈川県	逗子市	B	市内在住在学の中学生を市議会議員に見立て、議会の場で市長ほか理事者に対して、一般質問を通じて市政に対する意見提出や提言を行い、貴重な体験を通じて議会制民主主義について学んでもらい、議会の役割や行政のしくみを考える機会とするとともに、併せて、若い世代の意見を聴くことを目的とする。
神奈川県	秦野市	C	市内の県立高校へ当市の選挙管理員委員会事務局と出向き、高校3年生を対象として議会・選挙の仕組みについて出前講座を実施した。
山梨県	甲府市	C	市内にある高校を訪問し、報告及び意見交換会を実施した。
山梨県	都留市	A	市内3中学校を訪問し、主権者教育・議会報告会を実施。主に3年生を主体としたが、全学年生徒が参加する中学校もあり、今後も継続して実施する予定。『議会白書』『議会を学ぼう』を研修資料に主権者教育を実施。
山梨県	韮崎市	A	市内の小中高生に議員となっただき、本市の将来を担う子どもたちが、本市のさらなる発展に向け、より住みやすく快適なまちづくりを推進するため、市に対して自分の夢や希望を話してもらう機会をつくることにより、市政への関心を高めるとともに、子どもたちの社会参加を促進することを目的に小学生議会・中学生議会・高校生議会を開催している。
山梨県	笛吹市	B	市内県立高校1学年の総合的な探求の時間ワークショップに講師として参加。
山梨県	甲州市	A	・出前授業（市内すべての小学6年生・中学3年生を対象に出前授業を行った。議員3人一組となり、各学校の授業の1コマにおいて授業・質疑を行った。） ・子ども議会（市内の各小中学校の代表者が議場で議員などの役割を体験した。）
茨城県	水戸市	D	税の仕組みや使われ方などについて学習する小学生の親子向けのツアーの中で子ども議会を開催している。
茨城県	常陸太田市	A	高校生を対象とした対話集会の実施。
茨城県	笠間市	B	9月議会と12月議会中学生による議会（一般質問）の傍聴を受け入れた。
茨城県	小美玉市	A	模擬議会（一般質問）を実施。
栃木県	宇都宮市	G	・議会体験 市内の小学生から高校生までを対象に、広く市議会の仕組みや役割を理解し、議会に関心をもっただきとともに、早くから主権者としての意識を育むことを目的として、議場でシナリオをもとに議会の流れを体験してもらう。 また、議場だけではなく職員が学校に出向き、学校と議会をオンラインでつないだオンライン型の議会体験を実施（令和5年度に終了し、今後は、中高生の議会に対する理解促進と広聴機会の充実を図るため、市議会議員が学校に出向き、意見交換を行う「出前型議会体験」を令和6年度に実施予定）。 ・社会体験学習とインターンシップの受け入れ議会への理解を深め、開かれた議会を一層推進するとともに、主権者意識の醸成を図ることを目的として市内の中学生と高校生を対象に議会事務局の職場体験とインターンシップの受け入れを実施。
栃木県	足利市	C	マイ・チャレンジ事業議会を知ろう～中学校出張がい～を実施。
栃木県	栃木市	C	市と議会の共催により中学生議会を開催し、市内の中学校から選出された14名の中学生議員が執行部に対して一般質問を行った。開催にあたっては事前に2度の勉強会を開催し、議員が市議会の説明や一般質問の書き方について指導を行った。
栃木県	鹿沼市	B	「高校生登壇！議場体験発表会」の開催。・市内の高等学校で行った意見交換会の内容を各校の代表者が議場で発表を行う。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
栃木県	日光市	B	市内中学校にて議会報告会を実施。また市内高校からの声掛けで、議場にて授業プログラムの成果発表と高校生と議員による意見交換会を実施。
栃木県	真岡市	B	子ども議会は、将来の真岡市を担う子どもたちに、市議会の仕組みを理解していただき、市政への興味と関心を持たせ、郷土愛を育むとともに、子どもの目から見た市政への夢のある提言を求めることを目的に、市教育委員会主催で、小学6年生と中学2年生を対象に、隔年ごとに実施している。市議会としては、子ども議会の事前学習会に参加し、市議会の仕組みについて説明したり、質問事項の内容について意見交換したりするなどの協力支援を行った。
栃木県	矢板市	A	市内高校生との意見交換会を実施。
栃木県	那須塩原市	C	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み子ども議会探検 市内在住の小学生（5・6年生）を対象に、市議会の役割や仕組みの学習、議員との交流を通し、市政に興味を持ってもらうとともに、広く市議会をPRすることを目的とし、夏休み期間中に行っている。議会探検では、正副議長室、委員会室、議場などの見学を行い、正副議長室では正副議長との懇談、委員会室と議場では議会の仕組みなどを説明する。議会体験では、議場を使用し、小学生が議員へ議会に関する質問をし、議員が小学生へ答弁をする。小学生は質問席に着席し、その保護者は傍聴席に着席する。議員は執行部席に着席する。進行は議長が行う。 ●中学生を対象とした出前講座 市内の中学校へ議員が講師として赴き、出前講座を実施する。議員が直接講師を務めることにより、生徒の興味関心をより引き立てる。 ●高校生との意見交換会 市内の高等学校へ赴き、主権者教育及び意見交換会を開催している。主権者教育では、市政や議会活動への興味関心を喚起することを目的に、議会の仕組みを説明し、また、那須塩原市選挙管理委員会の協力を得て、模擬投票や選挙啓発を実施している。意見交換会では、地域の構成員としての意識を醸成し、まちづくりについて考えるきっかけを作ることを目的に、「私たちが住むまちに、私たちが将来やってみたいこと」をテーマに意見交換を実施している。
栃木県	那須烏山市	A	令和5年度那須烏山市子ども議会（市内小中学生を対象とした子ども議会）を実施。
栃木県	下野市	B	市内4中学校から各校4名議員を選出し、一般質問を実施。
群馬県	前橋市	E	主権者教育の一環として、高校生模擬議会を開催した。生徒が議長として議事を進行し、高校生ならではの視点から市政に対する代表質問を行い、所管の部長などがそれに答えた。模擬議会に先立ち、市議会議員が参加した事前授業が実施され、提案や質問の仕方など各クラスにアドバイスを行った。
群馬県	桐生市	C	市内中学校（1校）の1年生を対象に出前講座を開催し、議会の仕組みについて説明した。
群馬県	伊勢崎市	D	高校生の公民の授業の一環として議場見学を受け入れ、同時に事務局職員が議会に関する説明を行った。（高校からの依頼による）
群馬県	太田市	D	市内高校生との意見交換会を実施。
群馬県	沼田市	A	市内の小中学校の児童・生徒（小学5年生以上中学3年生以下）、市内及び利根郡内高等学校から推薦された参加者により、年1回、子ども議会を開催。
群馬県	安中市	B	市内高校を訪問し、高校生との意見交換会を実施した。
埼玉県	さいたま市	H	議会棟内の見学（議長室・議会図書室・委員会室・傍聴席）、議場内議員席へ着座し議員へ質問。
埼玉県	本庄市	B	第17回中学生まちづくり議会（一般質問。「My life safety campaign」宣言。）を実施。
埼玉県	春日部市	D	議会報告会（意見交換会）を市内高校（3校対象）にて開催。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
埼玉県	狭山市	C	市内の小学5・6年生を対象に「議員体験・未来を語ろう」を開催し、市議会の模擬体験を通して、市議会の仕組みや役割を学び、ふるさと狭山市の市政に対する興味・関心を高めようことを目的として実施した。当日は、子どもたちが本会議場の演壇に立ち、自分の思う未来を発表した。
埼玉県	羽生市	B	羽生市中学生議会：市内3中学校の代表9名が議員として議場で一般質問を行う。 議会出前講座：議員が市内3中学校に訪問し、議会や議員活動などを説明、事前質問等に答える。
埼玉県	鴻巣市	C	市内の小学校が市役所の社会科見学を実施しており、議会ではその一環として議場で模擬議会を行っており、1人の児童に質問してもらい答弁する形式で行っている。
埼玉県	草加市	D	小中学生向けに、夏休み期間に合わせ議会見学会を実施した。午前を小学生の部、午後を中学生の部とし、内容は次のとおり実施した。1.市議会のしくみや議員の仕事について学ぼう！2.普段入れない議場を見学しよう！3.議員に質問してみよう！4.市議会〇×クイズ5.みんなで記念撮影をしよう！
埼玉県	蕨市	B	放課後児童クラブ（小学生）の議場見学を実施。
埼玉県	戸田市	C	中学生との意見交換会、中学生による職場（議会）体験の受け入れ。
埼玉県	入間市	C	未来を担う中学生が、市議会の場を体験し、未来の入間市のために中学生自らが、入間市政に対する意見や要望並びに将来に託す夢を伝え、市の施策の参考とし、市政の発展に資することを目的に実施した。
埼玉県	朝霞市	C	市内小中学生30人を対象として、子ども議員からの質問・提言に対し市長・教育長が答弁をする子ども議会を実施。
埼玉県	桶川市	B	子どもの主体性を育みまちづくりへの関心を高めるとともに、市政への参画意識の醸成を図るため、中学生を対象とした子ども議会を実施した。
埼玉県	久喜市	C	前設問で回答した女性議会において、市内の高校生も女性議員として登壇し、行政や議会に対する参画意識の向上に努めた。
埼玉県	北本市	B	●一日子ども市長の取組について（小学生を対象） 開催日 令和5年8月22日（火）概要子どもたちが一日市長を体験することで、市長の公務や市の業務、取組を知り、市政に興味・関心をもってもらうことを目的としている。その一環で普段、中に入ることのできない議場や防災倉庫なども見学してもらい、議会とはどういったことを行っているところなのか、なんのためにあるのか等議席に座るなど体験しながら学べる機会を設けている。 ●小学3、4年生の社会科の授業の一環で庁舎（議場）見学 開催日 令和5年6月30日（金）南小学校3年生3クラス 令和5年10月24日（火）北小学校4年生2クラス概要庁舎内を見学した後、議場を見学。議会とは何か、だれが出席してどういったことをしているのか等議席に座るなど体験してもらいながら、政治について学んでもらう機会を設けている。
埼玉県	富士見市	C	令和5年9月29日に、富士見市議会と市内高等学校との協働事業として、首長大会を開催した。広報広聴委員会と高等学校の生徒さんと事前段階から協議を重ね、企画した。当日は、5組（9人）の生徒さんから自分たちで設定したテーマに沿って主張を発表していただき、発表後に議員や他の参加生徒さんとの質疑応答を行った。また、傍聴として多数の生徒さんにもご参加いただいた。
埼玉県	蓮田市	B	子ども議会。未来を担う子ども達に蓮田市の将来や市政、議会制民主主義への関心を深めてもらう目的で行っている。
埼玉県	日高市	B	市内小学生が子ども議員となり、学校や家庭の身近な課題を題材とした一般質問をする「子ども議会」を開催。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
千葉県	千葉市	H	公募による小学5・6年生の子ども議会議員と議事進行を支援するファシリテーター役の中学生が、テーマに基づいた提案や質問を行い、市長、両副市長、教育長が答弁をする。
千葉県	市川市	F	令和5年8月19日、市長のタウンミーティングの一環として、市内小学生を対象に実施。42人の小学生（5～6年生）が8会派に分かれて市政等に関する質問を行い、市長等が答弁を行った。
千葉県	船橋市	G	学校の夏休み期間中（令和5年8月16日・17日）に、市内在住又は在学の小学3年生から高校3年生までを対象に、市議会の仕組みや役割を理解していただき、市議会を身近に感じてもらうことを目的として議会見学会・意見交換会を実施した。
千葉県	木更津市	C	選挙管理委員会事務局と合同で選挙及び議会の仕組みについて議場で説明・見学を実施（小学6年生、1校）。
千葉県	茂原市	B	隔年で小・中学生を対象に議会を実施。小・中学生が一般質問を行い、当局が答弁する。再質問はなし。
千葉県	成田市	C	高校生との意見交換会（議会認識度〇×クイズ、議会棟見学、フリーディスカッション）を実施。
千葉県	佐倉市	C	・子供議会 中学生に模擬議会を体験させることによって、地方自治、地方行政のしくみについて学習し、併せて、地域に対する関心を高め、郷土愛を育成することをねらいとする。 ・高校生との意見交換会 市内に在住または在学の高校生を対象に、市政・市議会への関心を高めてもらうことを目的とし、議場見学や議員とのフリーディスカッションを行った。
千葉県	習志野市	C	高校に議員が出向き、高校2年生の全生徒と議員が直接対話する場を設けた。
千葉県	鴨川市	A	市内3中学校の代表生徒11人による「鴨川市中学生まちづくり議会」を市議会議場で開催。郷土愛の醸成と市政に対する理解と関心を深め、中学生の視点からの意見を今後の市政運営の参考とすることを目的とした。中学生11人の中から議長を選出、中学生議長進行のもと、中学生議員2人1組で登壇し、市の取り組みや政策、身近な地域の課題等に関する質問や提案を行い、市長及び教育長が答弁した。閉会後に市議会議長が講評を行い、市長がお礼の挨拶を行った。
千葉県	鎌ヶ谷市	C	子ども議会について、毎年実施しており、小学生、中学生を対象に隔年ごとに交互に実施している（令和4年度は中学生、令和5年度は小学生。）。例年、小中学生及び高校生向けに、春休み、夏休み期間中に委員会室を自習室として開放している。令和5年夏休み期間から、小中高生等（保護者含む。）を対象に、自習室の開放と合わせて議場見学を実施した。
千葉県	袖ヶ浦市	B	子ども議会：市内の各小中学校の代表者が、それぞれ市への要望や自分自身が考えていることを発表。
千葉県	八街市	B	八街っ子夢議会(子ども議会)選挙管理委員会の主催で、模擬投票を実施。
千葉県	印西市	C	大森小学校の議場見学（6年生） 議場の見学要望があり、議場を見るだけでなく、実際に体験できることがあればとの相談を受け、模擬議会を体験いただき、採決システムを用いた体験学習を行った（議員と執行部の2班に分かれ実施することにより、両方を体験する）。
千葉県	匝瑳市	A	市内中学生による模擬議会を開催して、中学校社会科（公民）「地方政治と自治」の学習内容について体験を通して理解するとともに、市議会の果たす役割について市民としての認識を深める機会としている。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
静岡県	静岡市	H	<p>○子ども模擬議会 小学6年生を対象に、「開かれた議会」推進事業の一環として、模擬議会を体験することで、市議会について学習し、議会への関心を深めてもらう。シナリオに沿って議員と市の職員それぞれの役を演じ、本会議の議事の流れを体験する。開催時期は、会期中を除く平日（月～金曜日）午前9時～正午・午後1時～4時で、開催場所は議場で概ね1時間程度で実施している。</p> <p>○市議会議員と高校生との意見交換会 高校生に議員と直接話すことで、市政や身の回りの関心事について自ら考えるきっかけとしてもらい、議員には若者の生の声を聞く機会を持ってもらう。 市議会の仕組みや制度を説明した後、市議会議員2人と高校生5人程度のグループを3つ作り、高校生が提案したテーマについて、1回30分のディスカッションを行う。ディスカッションは、テーマを変えながら全部で3回行う。開催時期は、会期中を除く7月～12月の平日で、開催場所は、各学校又は市役所静岡庁舎で実施している。</p>
静岡県	富士宮市	C	小学5・6年生を対象に夏休み親子議場見学会、児童による議場見学（一部の学校社会科見学）、市内5高校及び専修学校生徒による高校生議会を実施。
静岡県	伊東市	B	小学校からの要望を受け、議場見学を実施。
静岡県	島田市	B	広報広聴特別委員会にて、市内1高校と意見交換を実施。議員が学校に訪問し、ワールドカフェ方式による意見交換を行った。
静岡県	富士市	D	1月に議員8名が富士市立高校を訪問し、議会の事業評価の結果等の議会報告をした後、事業評価の中から生徒が選んだテーマについて、グループに分かれ議論した。議員は1名ずつグループに入り、議論に参加した。また、5月に富士市立高校の授業の1コマである「模擬議会」に参加する形で、議員8名が高校を訪問し懇談会を実施した。生徒が賛成・反対に分かれ、自分たちが考えた法案について討議し、議員は生徒にアドバイスした。
静岡県	掛川市	C	出前講座（学校訪問）を、市内3校ある高等学校の2校に行った。掛川市議会（議員）の活動等の説明を行うとともに、高校生の考えを伺い、若い人の視点や発想を得ること等を目的に開始した。
静岡県	袋井市	B	中学生未来会議：市内4中学校から参加希望をした生徒が集まり、市長、副市長をはじめとする市の職員や市議会議員とともに、袋井市をよりよい市にするために何ができるかを話し合った。
静岡県	菊川市	A	菊川市子ども議会では、参加者を公募し、夏休み期間（全5日間程度）を活用して、市議会議員と一緒に、オリエンテーション、提言書のテーマ決め、調査・研究等の事前学習を行い、作成した提言書の発表を議場で行っている。
静岡県	牧之原市	A	常任委員会の所管事務調査の一環として、市内の高校生と市民会議を開催した。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
愛知県	名古屋市	H	<p>【なごや子ども市会】目的：子どもたちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高める対象：名古屋市内在住・在学の小学5・6年生とその保護者等（原則2名まで）募集人数：1回あたり小学生40名（合計120名）内容：議会と市役所の役割や、岩手県陸前高田市と名古屋市の交流について説明、議場や委員会室等の見学を実施。</p> <p>【市会広報ポスターの作成並びに高校生による市会訪問と意見交換】令和5年度、議会改革の一環として、市民の方々（特に若い世代の方々）に政治や市会に対する関心を深めてもらうため、名古屋市立工芸高等学校デザイン科の生徒の協力を得て、市会広報ポスターを作成し、市内の公共施設等に掲示する議会の情報発信の充実に取り組むことにした。これに先立ち、ポスターのデザインを予定している生徒に名古屋市会を訪問してもらい、市会の活動紹介や、議場等の見学、正副議長との意見交換を行った。</p>
愛知県	岡崎市	E	<p>市内中学生との生徒市議会を開催（本市教育委員会）</p> <p>市内の高校と市議会議場で意見交換会を実施（市議会議員：議会広報委員会）。</p>
愛知県	瀬戸市	C	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋学院大学スポーツ健康学部子どもスポーツ教育学科の学生30名による「議場見学並びに模擬陳情体験」を開催した。市民からの意見である「陳情」について、学生が委員長役や議員役、陳情提出者役となり、学生が自ら考えた陳情を審査する常任委員会（模擬陳情体験）を行った。 ・中学生の職場体験の一部として議会見学を実施した。
愛知県	半田市	C	<p>「Qイズ！GIKAIへGO!!（令和5年8月25日開催）」小中学生を対象に選挙や議会、市への関心を高め、理解を深めてもらうためのもの。「市議会と高校生との交流会（令和5年12月18日）」若者世代の投票率が低迷している現状から、これから選挙権を得る高校生に対して、政治や議会の興味関心を持ってもらうためのもの。</p>
愛知県	刈谷市	C	<p>地方自治制度学習として市内全中学校3年生の生徒全員が議場を見学し、議会制度に関する講義及び議事体験学習を受講する取組を実施している。</p>
愛知県	安城市	C	<p>安城農林高校への訪問（授業への参加及び生徒への助言）市内の高校等へ市議会だよりの表紙を依頼し、インタビューも実施。</p>
愛知県	犬山市	B	<p>親子議場見学会：親子で参加することで、小学生の子を持つ若い親世代に対する啓発も目的に含んでいる。</p>
愛知県	小牧市	C	<p>小学生の議場見学を実施。</p>
愛知県	稲沢市	C	<p>市内私立高校である愛知啓成高等学校の生徒29名が高校生議員となり、6会派に分かれ、会派ごとに一般質問を実施した。答弁者は市長をはじめとした執行部の職員。</p>
愛知県	知立市	B	<p>子ども議会：市内3つの中学校から、生徒が議員として参加し市に対して質問や提案を行うもの。高校生議会：選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高めてもらうとともに、高校生の視点から広くまちづくりについての意見を聴き協議する機会を設けるもの。</p>
愛知県	尾張旭市	B	<p>市議会と市政への理解と関心を深めてもらうため、議員自らが説明を行う「わくわく親子議会探検ツアー」を、市内在住の小学生とその保護者を対象に開催した。</p>
愛知県	岩倉市	A	<p>中学生以上30歳以下を対象とした若者との意見交換会の中で、模擬議会として一般質問を行った。</p>
三重県	伊勢市	C	<p>伊勢市高校生議会（主権者教育の一環として未来を担う高校生が模擬議会を体験することにより、市政や議会など政治に関心を深めていただくことを目的に開催し、今後の市政の参考とする。）</p>
三重県	桑名市	C	<p>小学生の社会見学受入、小中学生への出前授業を行っている。</p>
三重県	鈴鹿市	C	<p>子ども会議。議場見学。</p>

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
三重県	名張市	B	市内高等学校で「議会の仕組みと役割」について講義した。
三重県	亀山市	A	政策条例意見交換会（議会が小学校児童会、中学校生徒会と政策条例の制定に向けて意見交換を行った。）を実施。
三重県	いなべ市	A	次代を担う子どもたちとその保護者に市議会を知ってもらうことを目的とした親子議会体験を実施。
岐阜県	岐阜市	F	市議会の仕組みを学び、未来の岐阜市について意見交流することで、ふるさと岐阜市の市政への興味・関心を高めるため、小学生を対象に岐阜市子ども議会を開催。
岐阜県	高山市	B	子ども議会（飛騨高山フューチャープロジェクト主催の地域お仕事発見隊の1プログラムとして実施）。議会と高校生との意見交換会の開催。
岐阜県	多治見市	C	高校からおとどけセミナーの申し込みがあり、議員が「18歳選挙権と議会について」をテーマに説明し、対話を行った。その後、一般質問を傍聴した。
岐阜県	恵那市	A	「中学生と恵那市の未来を語る会」として中学生からの提案を聞き、議会できりまとめ、市長へ提言書を提出し、市政への反映を促す取り組みを実施。コロナで議会報告会ができなかったこと、また、議場改修のお披露目もかねて、広報広聴活動の一環として実施。
岐阜県	各務原市	C	小学校の庁舎見学において、議場見学や議会の仕組みの説明を実施した。
岐阜県	可児市	C	高校生議会を実施。
岐阜県	海津市	A	市内中学校において出前授業を実施。
大阪府	大阪市	H	「おおさか子ども市会」…次代を担う子どもたちが、市会本会議場において市会を体験し、市政を身近に知るとともに、意見発表を通して市政に提言することを目的として、教育委員会事務局と共催で実施。夏休み期間中のうち3日間、6つの委員会を設けて子ども議員を選出の上、実地調査、委員会を経て、本会議で市長に対し質問や意見を発表し、市長が答弁を行った。また、市会議長、副議長からあいさつがあり、市会の各常任委員長からそれぞれ感想のコメントがあった。令和5年度は中学生市会として、市内に在住または在学する中学生から、市会の議員定数と同じ81名の子ども議員を選出し、開催した。 「高校生と大阪市の市議員の意見交換会」…次代を担う高校生が市議員と意見交換をすることで、政治や行政、選挙などに対する理解と関心を高めることを目的に冬休み期間中に行うイベント。令和5年度は、39名の高校生が参加した。
大阪府	岸和田市	C	各党派から選出された委員で構成する議会改革検討委員会にて、来年度の子ども議会の実施に向け、実行委員会の設置やスケジュール等、具体的な検討を進めている。
大阪府	泉大津市	B	市内小学校1校の6年生を対象に選挙管理委員会と連携して、議場での説明と模擬投票を行った。市内全小学校8校の3年生を対象に市役所庁舎見学の際に、議場において、議会や議場に関する説明を行い、その様子を議会だよりに掲載している。令和5年4月に改選後、新たな議員を迎え、来年度「こども議会」開催に向けた仕組みづくりを行っている。
大阪府	守口市	C	未来の有権者となる本市の中学生が市政や市議会をより身近に感じながら、「仕組みや役割」を学習するきっかけとなることと、日頃子ども達が、疑問に思っていることや希望・要望など、豊かな感性から出された意見を発表する機会を提供し、子ども議会の経験を通して、市政や市議会への興味関心へ繋げていくことを目的として開催。
大阪府	枚方市	E	本市議会では、地域からの依頼に基づき出前講座や、小学校の社会見学の受け入れ（学校からの依頼に基づき、議場において、議場や議会に関する説明等を行う）の取組があり、令和5年11月に社会見学の受け入れを行った。
大阪府	茨木市	D	市内にある高校のうち1つの高校の生徒と意見交換会を実施した。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
大阪府	八尾市	D	主権者教育の一環として、令和5年2月中学生を対象に座談会を実施した。目的としては、議員と直接話をする事で、生徒の皆さんにも議会制度への理解を深め、議会をより身近に感じていただき、興味・関心を高める学びの貴重な機会としていただくとともに、議会や議員のことをより分かりやすく若い世代へ広報することであった。内容としては、議会や議員に関する疑問や聞きたいことなどを事前に考えていただき、それについて市議会議員が直接回答した。なお、座談会の様子は令和5年4月20日発行のやお市議会だよりの特集記事として、若い世代へ向けた議会を紹介する内容の掲載を行った。
大阪府	泉佐野市	B	市内の小学4年生から中学3年生までを対象に公募し参加者を決定。児童・生徒が議員役になって質問を行い市議会議員が執行機関側となり答弁を行う。
大阪府	松原市	C	令和5年7月に松原市内の各小中学校から選出された計22名を対象に、松原市の将来について考え、まちづくりへの関心及び、市政に対して参画意識の構成を図ることを目的に子ども議会を開催した。
大阪府	和泉市	C	子ども議会：市内小学校の5・6年生10人が参加。33年後（市政100周年）の和泉市について、「誰ひとり取り残さないやさしいまち」、「いのち輝く未来のまち」をテーマに議論を行った。
大阪府	柏原市	B	市こども会育成連絡協議会の周年事業として、こども模擬議会を開催。市内の小学4～6年生の児童が参加し、こども議長・こども議員・司会に分かれて、市長や教育長に質問等を行い、市議会と同様の議事を進めた。
大阪府	高石市	B	毎年4月～6月頃の時期に、市内の小学校からの依頼に応じて議場見学の訪問を受け入れ、生徒達は実際に議員席及び理事者席に座り、議会事務局職員から市議会についての説明を受け、子ども模擬議会の体験をしてもらっている。
京都府	京都市	H	市内に在住又は通学の小学4～6年生とその保護者を対象に親子ふれあい議場見学会を実施。市内の小学校4～6年生及び中学生を対象に子ども議場見学を実施。
京都府	福知山市	B	小学生の議場見学において、広報広聴委員会の正副委員長が説明や案内を行った。
京都府	舞鶴市	B	市内の小学校から高等教育機関までを対象とした議会学習会や議場見学を開催。・議会に対する理解を深め、より身近に感じていただけるよう、議会の機能や役割について学ぶ機会を提供することを目的として実施。・仮想の議会を開会し、参加者には議員や市長といった役職になりきり、本会議の議事の一部を体験していただく。
京都府	亀岡市	B	夏休みを利用し、市議会を身近に感じてもらうため、議長室、会派控室や会議室の見学、議場では議席から議員への質問、登壇体験などを実施した。
京都府	長岡京市	B	次代を担う高校生の主権者意識の向上や、議会を身近に感じる機会の創出を目的とし、市内高校と共催で主権者教育出前授業を行っている。
京都府	南丹市	A	税について学ぶ授業の一環として「市の理想予算を考える」をテーマに、議員が小学校6年生の授業を訪問。児童とともに一市民として市の未来とより良いまちの姿について考えることを目的とした意見交流会を実施。（令和5年7月5日実施）
京都府	木津川市	B	令和6年度中に実施できるよう現在、市内府立高校と調整中。
滋賀県	大津市	E	・若い世代に市議会への関心を高めてもらうため、議会の基本的な情報が分かりやすく掲載されている「子ども向け市議会ガイド」や、動画「クイズで学べる！大津市議会！」など、さまざまなコンテンツで情報発信をしている。 ・主権者教育と議会の広報広聴活動の一環として、高校生との意見交換会を実施している。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
滋賀県	彦根市	C	子ども議会は未来を担う小学校の児童が、議会制民主主義を体験的に理解するとともに、政治への関心を深め、また、彦根市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、児童に社会参画への態度や意欲を培うことを目的としている。
滋賀県	草津市	C	高校生との意見交換会を実施。
滋賀県	東近江市	C	11月12日に、東近江中学生議会を開催。地域の様々な課題への関心を高め、市政や市議会の仕組みを学ぶ場として、東近江市PTA連絡協議会と市議会議員の有志で組織された実行委員会が主催し、毎年開催されている。
滋賀県	米原市	A	地元の高中生とのまちづくりワークショップ「すみたいまちをつくるワークショップ」を実施。
滋賀県	長浜市	C	小学生高学年を対象とした議会紹介動画を作成し、教育委員会に活用を依頼した。
兵庫県	神戸市	H	令和5年12月15日、兵庫県立神戸甲北高等学校と連携した主権者教育を同校にて実施した。（全校生徒約600名対象、議員19名参加）1時間目は体育館において、生徒から議員に対し、日ごろ感じている疑問に関する質問が行われた。また、課題「神戸市の子育て支援施策はどこに重点を置くべきか」について、各会派の代表者および「神戸の研究」※の発表者から、課題に対する意見表明などがあつた。 ※「神戸の研究」は、神戸市の魅力発信や課題解決に取り組むため、神戸甲北高校が独自に設定している科目2時限目は各教室において、グループに分かれて生徒間で課題に関するディスカッションが行われ、各教室を議員が参観し意見交換を行った。
兵庫県	姫路市	G	次代を担う高校生たちが、市議会議員との意見交換を通して、市政や議会活動への関心と理解を深めるとともに、自分たちが暮らす地域の課題や将来のまちづくりについて、高校生の視点で自由な発想や意見を発表し、共に考え、学ぶ場として「高校生と姫路市議会との座談会」を開催している。
兵庫県	尼崎市	F	①市内に居住・在学している若者（中学生～29歳）が、市の取り組みに興味を持ち市民活動への参画や自分たちのまちを知る機会とするため、市立ユース交流センター主催で、市議会議員と意見交換を行った。（令和5年1月29日開催） ②市内の学校の高校生に、議場にて演奏してもらい、市民に議場に足を運んでもらうことで議会への関心を深める機会としている。（令和5年9月8日開催） ③市議会の仕組みや運営、議員の仕事、市政などについて知ってもらう目的で市議会ガイドブックを作成し、市立中学校の3年生に社会の授業などで学習の参考資料として活用してもらうため、無償で配布している。
兵庫県	明石市	E	夏休み親子で議会体験ツアーを小学校の夏休みにあわせて開催。模擬本会議や議会棟内の探検ツアーを実施。午前・午後の2部制で高学年と低学年にわかれて実施。
兵庫県	西宮市	F	市内市立高校の生徒が議場を訪問し、議員から議会の仕組みや役割について説明を行った。
兵庫県	芦屋市	B	小学生（学童保育）による議場見学を実施。
兵庫県	宝塚市	D	宝塚市子ども条例に基づき、市は、子どもが社会の一員であることを認識し、市政等についての情報及び意見を表明する機会を提供するとともに、子どもの意見を聴き、市政等に反映させることを目的に、子ども議会を実施している。
兵庫県	丹波市	B	丹波市議会☆ミライプロジェクト・市内高校生を対象とした意見交換会を実施。
兵庫県	朝来市	A	令和5年6月7日15:20～17:00 和田山高等学校への学校訪問による議会カフェ 令和5年8月3日13:05～15:36 和田山高等学校及び生野高等学校の生徒18名による市政全般に対する質問、提案等の模擬議会を実施。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
奈良県	奈良市	E	先述の令和5年度議会報告会では、18歳の高校3年生も対象として募集をしたが、応募はなかった。
奈良県	大和郡山市	B	次代を担う子供たちが市議会や行政の仕組みやその役割を学び、大和郡山市のまちづくりに関心を深め、自分たちが置かれている環境に対し、自ら考える力を高めることを目的に、市内5中学校から各2名ずつ、計10名の生徒の参加を募り、「子供議会」を実施している。
奈良県	五條市	A	西吉野農業高等学校の生徒と議員との意見交換会（全国から集まってきた生徒との意見交換を通して、将来を担う若者に市議会を身近に感じていただき、議会や市政に関心を持っていただくとともに、生徒との対話から得られる意見や情報を議会活動の参考とするために開催。）を実施。
奈良県	葛城市	A	主権者教育の一環と位置付け、各小・中学校では、事前学習として、一人一人が地方自治のしくみについて学ぶとともに、市制20周年に向けた提案や市政についての質問内容を考えることにより、故郷葛城市について興味・関心を高め、積極的に葛城市を大切に考える郷土愛をはぐくむ。また、当日の議会の様子を録画配信で観ることで、市議会の様子を知るとともに、市政への関心と理解を深める。
奈良県	宇陀市	A	市内の小学6年生の児童を対象に議会見学プログラムを実施している。社会科で日本の政治の仕組みや働きを学ぶことに合わせ、児童が市の議場を訪れ簡単な模擬議会を行う。
和歌山県	和歌山市	E	地域課題の解決策について、中・高校生と意見交換会を開催した。
和歌山県	岩出市	B	市内小中学校の児童生徒のメッセージを議会広報に掲載し、議会を身近に感じてもらえるようにしている。
島根県	浜田市	A	小・中・高校生を対象に限っているわけではないが、対象外ともしていない全市民対象のフリースピーチ制度「はまだ市民一日議会」を令和3年から年1回ずつ実施しており、年々小・中・高校・大学生の参加割合が増加しており、議場という場で発言する機会の提供、各参加者の日ごろの思いや課題に対する考えを表明できる場の提供という観点から主権者教育にもつながる取組事例と考える。
島根県	出雲市	C	市内高校生を対象とした主権者教育を実施。
島根県	江津市	A	・小学生が議場で電子採決を体験したり、市政に関する意見を議員へ発表する場を設けた ・議員が中学校へ赴き、生徒と意見交換する場を設けた。
岡山県	倉敷市	F	「市議会だより150号記念 夏休み家族市議会体験ツアー」市議会への関心と理解を深めてもらい、市議会を身近に感じてもらうことを目的に、市内の小学5・6年生とその家族を市議会に招き、議場の見学や、議長・副議長との対話などの体験イベントを8月4日に行った。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
広島県	福山市	F	<p>◎ 福山夢・未来開花プロジェクト（主管課：若者・くらしの悩み相談課） これまで実施していた「子ども議会」「高校生議会」「夢・未来プロジェクト」の3事業を統合した事業。次代を担う若者たちの「実行する力」「やりきる力」「未来を創る力」を育成し、福山への愛着を深めてもらうため実施する。</p> <p>【対象】小学5年生から高校3年生（福山市内に居住または市内の学校に在学する個人・グループ）</p> <p>【内容】○ 未来づくりコース 福山市の現状や課題を調べ、まちづくりについて、仲間と一緒に議論を深めていく。そして、福山や社会のためにやってみたいことを自分たちで実践していく。実行の過程では、必要に応じて、地域や企業、学校等とも一緒に活動していく。（活動例1）日本三大緋（かすり）の一つである「備後緋」の魅力をデニムと共に伝えるため、学生によるファッションショーを開催する。（活動例2）安心安全で明るい駅周辺を実現するため、犯罪抑止効果のあるポスターのデザインを作成し、掲示する。○ 夢の応援コース 夢の実現に向けたチャレンジを支援する。また、支援対象となったら、同じ夢を持つ仲間を集め、一緒に活動する。（募集例1）箱根駅伝に出場するために、同じ夢をもつ仲間を集め、一緒にマラソン指導者から指導を受けたい。（募集例2）パラスポーツのアンプティサッカーを知ってもらうために、アンプティサッカー教室を開きたい。</p>
広島県	三原市	B	市内の高校と連携し、意見交換会を開催した。
広島県	三次市	A	市内の小・中学生の児童・生徒が参加し子ども議会を開催（主催：青年会議所）。
広島県	府中市	A	高校生を対象とした意見交換会（広島県立府中高校、広島県立上下高校）を実施。
広島県	東広島市	C	東広島市議会では高校からの依頼により、若手議員による市議会の存在意義や市議になった動機、市議会議員としての活動、市政への取り組み等について、生徒と対話を行うため、議員4名を派遣した。令和5年の実績は1件。
広島県	廿日市市	C	市内在学の中学生（各校1名）が子ども議員として参加し、3回のプレ学習会を実施し、子ども議会の所管である議会運営委員会の委員がアドバイスを行い、子ども議会を開催している。
広島県	江田島市	A	小学6年生を対象として、児童の意見発表（市への提言・質問）に対し、執行部が答弁を行う議会アドベンチャーを実施。
山口県	宇部市	C	こども選挙（模擬投票）の実施（R5.11.20及び11.21） 執行部と連携し、市内の小中学校1校において実施した。
山口県	山口市	C	小学校1校の児童に対し、議場において議会等の説明を行い、直接議員と対話をする機会（質問コーナー）を設けた。
山口県	萩市	A	一般社団法人 萩青年会議所主催で中学2年生を対象に萩市子ども議会を開催。生徒から「理想の萩市」にするためのアイデアを募集し、そのうちの15名が実際に議場で提案し、その提案に対し市長または教育長が回答。
山口県	岩国市	C	岩国市内の高校生を対象とした、一般社団法人岩国青年会議所主催による「Junior Parliament ～次世代主権者意識研修会～」の開催があった。本研修会は、日々不透明に感じている議会の内容について理解する機会の創出を狙いとし実施された。参加する高校生が議会についての講義を受け事前学習を行ったのち、岩国市議会議員と直接ディスカッションを行う形式とされた。
山口県	光市	A	高校生との意見交換会を開催。「市議会の仕組み等について」をテーマにした出前講座を市内高校を対象に開催。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
山口県	長門市	A	<p>【概要】市議会の議場において、市内の高校生を対象に議員から議会の概要を説明した後に、高校生が学校活動で「長門市の持続可能性」をテーマに考えたアイデアを基にした内容を発表し、議員が助言をする取組を1回行った。</p> <p>【件名】大津緑洋高等学校生徒との意見交換会</p> <p>【目的】高校生の様々な意見を聴き、長門市の未来を担う若者の声を市政に活かせるよう、議員各自の知見を深めるとともに、市議会議員との交流により、長門市政の実際を高校生に少しでも身近に感じる契機となるよう意見交換会を実施する。</p> <p>【テーマ】～未来の長門に期待すること～</p>
山口県	山陽小野田市	B	<p>取組事例名：中学生を対象とした本会議傍聴 主催者：議会 実施日：傍聴・中継視聴日令和5年6月19日 意見交換会開催日 令和5年7月6日</p> <p>取組概要：・市内中学校3年生が本会議における一般質問の傍聴又は中継を視聴した。・傍聴又は中継視聴前に市議会に関する資料の配付又は一般質問に関する説明を実施した。・傍聴又は中継視聴後にアンケート調査及び意見交換会を実施した。</p>
徳島県	徳島市	D	<p>徳島市の未来を担う子どもたちが、自分たちにとって住みたくなるまちづくりを、自分たちで考える機会を創出することで、市政に対する関心を高め、将来まちづくりに参画するきっかけづくりのため、徳島市内の小学校に通う小学4年生から6年生を対象として、株式会社エフエムびざんと共同で、夏休みを活用した「子ども議会」を開催したものの。</p>
徳島県	鳴門市	B	<p>市内の高校2校に議会だよりの表紙を作成してもらった。高校生と議員との意見交換会、女子高校生と女性議員との意見交換会を実施した。</p>
香川県	高松市	F	<p>若者の議会活動に対する認識度の向上を図るとともに、高校生の考えを政策提言等に反映させ、住みやすい魅力ある高松市を目指すため、高松第一高等学校生徒との意見交換会を開催している。</p>
香川県	丸亀市	C	<p>学生との意見交換会を実施。</p>
香川県	坂出市	B	<p>議会報告会を高校生を対象に実施。</p>
香川県	観音寺市	B	<p>次世代を担う若者と市議会議員が共にこのまちの未来について語り合う機会を設け、若い世代の多彩な考えを聴取し、市政に反映させるようにするため、高校生世代を対象とした意見交換会を実施した。</p>
愛媛県	松山市	G	<p>小学5年生と6年生とその保護者を対象に「夏休み親子市議会体験ツアー」を開催し施設見学と模擬市議会（実際に本会議で行われた質問と答弁をもとに作成した原稿を子どもに読んでもらう）を実施している。</p>
愛媛県	今治市	C	<p>【今治市中学生議会】</p> <p>①目的 今治市の将来を担う中学生たちが、市議会のしくみや働きを直接体験することにより、地方自治の役割や重要性を認識し、若い世代が政治へ参加していくための意識の底上げを図るとともに、中学生の視点からの意見を今後の市政運営の参考とすることを目的に「今治市中学生議会」を開催。</p> <p>②対象 中学生24名（市内中学校8校から各3名生徒を選出） ※当日1名欠席のため、実績は23名</p> <p>③主催 今治市議会 今治市 今治市教育委員会</p> <p>④日時 令和5年8月4日（金）</p> <p>⑤会場 本会議場</p> <p>⑥内容 1. 本会議を開催し、各校1問ずつ質問を行い、理事者が答弁する。2. 質問の作成にあたっては、下記質問テーマを参考にし、内容が偏る場合には調整を図る。テーマ決定後、詳細な質問内容は事前に通告を行う。◎質問テーマ・明るい地域社会の形成・健康と福祉の充実・教育・文化・スポーツの充実・循環型社会の形成・快適な都市空間の整備・産業の活性化・その他市政全般</p>

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
愛媛県	西条市	C	議会を身近に感じてもらえるよう、議会フロアにおいて高校生作品展を開催した。
愛媛県	四国中央市	B	高校生を議員として一般質問を実施する模擬議会を開催。
愛媛県	西予市	A	議員を3班に分け、市内にある3校へ向う高校生と意見交換を行い、高校生から出た意見・要望事項をとりまとめ市長へ提出し、後日議場にて生徒が市長に対して質疑を行っている。小学生が議場の見学を行い、職員から議会の仕組み等について学ぶ取組を実施している。
高知県	高知市	E	令和5年度「こうち志議会」 令和5年8月24日(木) 13:00~16:00中学生及び高校生が市政に関する質問を考え、高知市の執行部が答弁を行う形式で開催した。
高知県	須崎市	A	子ども議会子どもたちに議会や行政の仕組みを学んでもらうとともに、須崎市の将来について考えてもらうことを目的とし、市内の小中高生が市議会本会議場で市議会の一般質問と同じ形式で質問を行う。今年は7/25に開催。6校12人から9つの質問が出され、市長が答弁した。
福岡県	福岡市	H	「親子議場見学会」を8月に3回実施。小学4~6年生とその保護者など57組の親子が参加。議場見学や、児童が議長や議員役となる本会議体験などを行った。
福岡県	大牟田市	C	市内の高校生と意見交換会を行う際に、議場や委員会室を活用するなど議会体験の要素を加えた形で実施している。
福岡県	筑後市	A	・市内全小中学校に対し、議会傍聴の案内やキッズガイドの配布を行っている。 ・出前講座(教育委員会が主催)として「市議会のしくみと役割」の講座を登録しており、申込みがあった際は講座を行っている。
福岡県	小郡市	B	①市内2校の高校生を対象とした高校生との意見交換会を開催。ワールドカフェ方式で、2つのテーマについて、議員と意見交換し、班ごとに議場で発表。 ②市内の小学6年生が議場訪問し、議会運営委員会の正副委員長による議会に関する説明及び質疑応答を実施。
福岡県	筑紫野市	C	小学生と保護者を対象に市議会の役割等について説明。過去の予算委員会を再現し、予算が可決されるまでの流れについて説明。
福岡県	春日市	C	市内中学校を議員が訪問し、複数のグループに分かれて、テーマに沿った質疑や意見交換を行う。
福岡県	大野城市	C	小学校より依頼を受け、議場にて議会の説明を行った。
福岡県	うきは市	A	「うきは市民大学子ども未来学部 子ども議会」うきは市の将来を担う子ども達からの視線・発想から、本市のまちづくりや生活について質問や提案などを行い、子どもの主体性を育むとともに、将来への夢や希望を抱いた子どもの育成を図ることを目的に令和5年8月19日に実施。議長・副議長も参加小学生より選出し、班別の発表に加え実際に質問席より市執行部に対し政策提案等を行い、市長等が答弁を行う形で実施した。「高校生との意見交換会」市内唯一の高校の生徒と交流を深め、市議会を身近に感じてもらうこと、さらに若い世代の率直な意見を聞くことで、今必要な施策を考察し、市政に助言、提言していくことを目的とし、令和5年1月23日に市内にある公立高校へ市議会議員が訪問を行い、1・2年生との間で3つのテーマにて意見交換を行った。テーマ①：子育て世代をうきは市に呼び込むには？テーマ②：当該高校をより魅力的にするには？テーマ③：将来、自分が生まれた街に住み続けたい？
福岡県	那珂川市	A	福岡県重点課題研究指定・委嘱事業に係る中学3年生の公民の授業に市議会として参加した。議員は、生徒たちのグループにそれぞれ入り、生徒から若者の政治関心を高める取組などの発表を聞いたうえで、様々な意見交換を行った。
佐賀県	佐賀市	D	市内の高校にて出前講座を実施した(1件)市内の子どもクラブ(小学生)からの議場見学に対応した(1件)。
佐賀県	鳥栖市	B	議場オープニングセレモニー(中学生スピーチ)を実施。
佐賀県	多久市	A	6年生に対し、出前授業を開催。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
佐賀県	嬉野市	A	10月23日と11月16日に嬉野高校生との「議員とかたろう会」を開催。短時間ではあったが、活発な意見の交換が行われた。
長崎県	長崎市	E	特色ある主権者教育の取り組み事例としては、社会科見学で市役所を訪問した小学生に向けて、議場見学や事務局職員から議会についての説明を行った。上記設問で回答した中学生議会については、各市立中学校から中学生議員を1名選出し、2つのテーマについて委員会審査から本会議での採決までを実際の委員会室や議場を使用し実施した。
長崎県	諫早市	C	有喜地区社会福祉協議会は、世代間交流事業として、ボランティアスクールを実施している。地域の中で学びの場を作り、子ども達が、いろいろな体験を通し、たくさんの大人との交流を広げることを目的として、子ども議会を行った。
長崎県	南島原市	A	市内中学生の本会議傍聴を行っている。
熊本県	熊本市	H	意見交換会（高校生対象）こども議会を実施。
熊本県	水俣市	A	みなまた未来ラボこども議会において、事前に中高生が水俣市の現状と課題を学び、それをもとに水俣のまちづくりについて考え、こども議会の中で市長、執行部に対して質問、提言を行った。
熊本県	玉名市	B	市内の中学生が取り組んだ、市の課題に対する調査研究及び政策提言発表の授業を常任委員会で参観した。
熊本県	山鹿市	A	小学生を対象に主権者教育（模擬投票）を行った。
大分県	大分市	F	若年層との意見交換：若年層の政治参加意識を喚起することを目的とし、中学校2校及び高校1校に議員が出向き、意見交換を行った。
大分県	別府市	C	令和5年2月16日（木）別府市立中部中学校 職場体験を実施。
大分県	津久見市	A	「議会体験学習会」・・・社会科学習の一環として、市内の小学6年生を対象に、予算審議の場面を例にとった模擬議会を実施している。 「津久見高校生との意見交換会」・・・市内唯一の高校である津久見高校の生徒と議員が、市の課題などについての意見交換を行い、その結果をグループ代表の生徒が登壇し模擬議会の形式で発表する。
宮崎県	延岡市	C	政治に関心を持ってもらい、若者の意見を今後のまちづくりの参考とすること、及び議会のしくみ等を理解し、議会に対して親近感を持ってもらうことを目的として市内高校生との意見交換会を開催している。
宮崎県	日南市	A	こども議会（市内小中学校生徒25名が、それぞれ将来や学校生活に関する提案を行い、市長が答弁する。） 高校生生徒交流会（4つの高校内で課題となっていることについて、質問、答弁、委員会協議からなる模擬議会をとおして、解決策を図る。）
宮崎県	小林市	A	・日時：令和5年2月2日（水）14時20分～15時10分 ・対象者：高校2年生 48名 ・実施方法：広報広聴委員7名が私立高校1校を訪問し、視聴覚室において対面による、意見交換会を実施した。 ・内容：選挙啓発の動画上映、政治及び選挙啓発に関するスライドショー、意見交換会を実施した。
宮崎県	日向市	B	「高校生と市議会議員との意見交換会」を、市内3校（うち1校は全日制・定時制で実施）と実施。「まちづくり」に関して、高校生がテーマ別に発表、高校生と議員がグループに分かれ意見交換、最後は意見交換の内容を全体で共有するという流れで行った。
鹿児島県	いちき串木野市	A	地元の高中生との意見交換会を実施。
鹿児島県	曾於市	A	子ども議会・・・市と教育委員会の主催で毎年議場で行っており、小・中・高校生を対象に、各自でテーマを一つ決めてもらい、一般質問形式により行っている。議長・副議長も子どもが行い、議事を進行する。

都道府県	市区名	人口段階	具体的内容
沖縄県	石垣市	B	市内中学生を対象に子ども議会を開催した。20名のこども議員から行政に関する質問を行い、それに対して市当局が答弁を行った。
沖縄県	うるま市	C	希望があれば見学を受け入れており、現在受け入れ方法を含めて整備を検討している。